



学校教育目標

確かな学力と豊かな感性に培い、仲間とともにやりぬく子どもの育成

めざす子ども像

- 学び合う子（問題解決力）
- 支え合う子（共生）
- やりぬく子（自律）

研究主題

主体的な学びによる思考力・判断力・表現力の育成

～らんでみよう！いてみよう！ってみよう！しんじあう友はっんしよう！～

めざす授業の姿

全員が学びに向かう授業

学びに向かう…自分の考えを表現する

『自己選択』『目的意識』『繰り返す』『協同』『表現する』がある授業

記号接地

～抽象的な概念と具体を行き来する～

- ①問題場面と生活場面をつなげて考える。
- ②出てきた答えが何を表しているか考える。

生活科・総合的な学習の時間

【めざす子ども像】 ①駅家西の町に誇りをもてる子 ②学びを発信できる子

【テーマ】 低学年：すごいぞ駅家西～つながりを見つけてみよう～

中学年：みんなにやさしい駅家西の町をつくろう

高学年：学びをつなぎ、世界に発信しよう！～駅家西の町から～

◎ESDの視点を加えることによって育まれる力（持続可能な社会の形成を担う人として期待される力）

- ①身近な環境や社会を多様な観点で観る眼・姿勢を養う。
- ②社会の成り立ちや関わり合う仕組み、その価値を捉える視点を養う。
- ③より良い社会を創る視点を獲得し、身近なところで実践する力を養う。
- ④より広い観点で地域の課題や特色を捉え、考察する、思考の基盤を培う。
- ⑤問題を他人事から自分事へとしていく、主体性と責任性を育む。
- ⑥自分自身だけでなく、異なる立場や地域の意見や考え方も尊重していく寛容な態度と多様性への理解を育む。

駅家西の様々な地域の主体と「つながり」ながら、福祉・環境・歴史・文化への取り組みに触れ、持続可能な社会づくりに向けて自分で考え、行動する力を育む。

ESDの授業づくりの視点

①関連する持続可能な社会づくりの構成概念

多様性、相互性、有限性、公平性、連携性、責任性

②ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度

- *課題発見・解決力
- *コミュニケーション
- *挑戦する力
- *社会参画力

③つながり

- 自分と学びのつながり（体験活動、学習課題の自覚）
- 内容のつながり（カリキュラムマップ）
- 自分と他者とのつながり（グループ学び、集団学び）

学習指導要領から抜粋

- 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性（総則）
- 国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者（社会科）
- 問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる（理科）
- 持続可能な社会の構築など社会の変化に対応（家庭科）

ESDの視点

すべての人が質の高い教育の恩恵を享受し、また持続可能な開発のために求められる原則、価値観及び行動があらゆる教育や学びの場に取り込まれ、環境、経済、社会の面において、持続可能な将来が実現できるような行動の変革をもたらすことを目標とする。「国連持続可能な開発のための教育の10年実施計画」より引用

